

Language & Cultural Competence Test

The matchbox fell from Anthony's hand, but his amazement was fully equaled by that of Battle.

- ①マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはバトルとまったく同じように驚いた。
- ②マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーの驚愕はバトルのそれとまったく等しかった。
- ③マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはバトルのマッチ箱にもまったく同じように驚いた。
- ④マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはすっかり驚いてしまった。

[1-2] 次の日本語に対応する、できるだけ簡潔で分かりやすい英文を選択しなさい。

私たちはジャックがパーティに出席していないことに気がついた。

- ① We noticed that Jack is absent from the party.
- ② We noticed Jack's presence at the party.
- ③ We noticed Jack's absence from the party.
- ④ We noticed that Jack is not present in the party.

[解答]

[1-1] 正答：①

上で述べたルールに加えて、代名詞 that の指す内容を正確にとらえる必要があります（翻訳英文法ルール No.10 参照）。②は読みほどこぎが出来ていません。③は that のとらえ方が誤っています。④は誤訳があります。

[1-2] 正答：③

「ジャックがパーティに出席していないこと」を簡潔に表現します。①、④は文法上の誤りを含みます。②は内容をよく考えましょう。

2. 「反復を避けるための代名詞 That, One の訳し方」—翻訳英文法のルール No.10

代名詞の処理には注意を要します。英文に出てくる代名詞をすべて日本語の代名詞に対応させなければならぬとは限りません。たとえば、

The climate here is just like that of England.

というセンテンスを考えます。「この気候は、イギリスのそれとちょうど同じだ」と訳すことができます。しかしこれでは日本語として不自然だという印象がぬぐえません。ここで、代名詞 that は climate を指しているということに注目すれば、「この気候は、イギリスの気候にそっくりだ」とすることができます。さらに日本語として自然な言い回しにするために、次のようにすることもできるでしょう。「この気候はイギリスにそっくりだ」。一般的に、日本語で表現する時には、意味が不明にならない限り、